

令和5年度
障がい学生支援室

● 西原町内学童ボランティア活動について



ボランティア学生

KM さん

KY さん

障がい学生支援室では、西原町内の学童においてボランティア活動を行っています。

障がい学生支援室ボランティア学生の KM さんと KY さんが活動報告をまとめてくれましたので、今後の活動にぜひご参考ください。

活動を始めたきっかけ

KM さん

元々、ボランティアなどの社会貢献活動に興味を持っており、色々調べていたところ、アクセシビリティリーダーという資格が大学で取得できることを知った。その後、ボランティア学生に登録し、その活動内容の一つに学童のボランティアが含まれていることを知り、子どもと関わるのが好きだったことに加え、自分のスケジュールに合わせて活動を組むことが出来ると思ったため、学童でのボランティアを始めた。

KY さん

私が学童ボランティアを始めたのは、以前からボランティアに興味があったからです。特に大きな理由があるわけではないのですが、ボランティアをすることで日常では関わることの少ない人たちと交流する機会を持てたり、社会経験として自分の将来に役立つような学びがあったりするはずだと考えていたからです。また私は教員や保育士を目指しているわけではなく、大学卒業後は子どもたちと関わる機会が減るはずなので、学童ボランティアを通して今しかできない経験をしておきたいという思いもありました。

活動内容

子供たちが来る前

・掃除…寒さ対策をしたり、砂や落ち葉をほうきで掃いたり、雨の日にはデッキの拭き掃除

子供たちが来た後

・宿題のサポート…子供たちが宿題を始めやすいように声をかけたり、困っているときにサポートしたりできるよう心がけている。

・遊び…外遊びや室内での遊びを一緒に楽しむ!

活動を通して得た学び

KMさん

①子供たち一人一人の個性に合わせた接し方

子供たちの中には、集中して宿題が出来る子もいればすぐに遊んでしまう子がいたり、注意したら一回で聞く子もいれば何回注意しても聞かない子がいたりするなど、それぞれ性格が違うため、一人一人に合わせて接し方を変えていくことが必要だと学んだ。また、性格だけでなく、性別や年齢によっても、出来ることや捉え方に大きな違いがあるので、私も、臨機応変な対応を心掛けるように意識していた。

②自分で考えて行動させることの大切さ

学童では、すぐに大人が手を貸すのではなく、子どもたち自らに、考え行動させるという方針をとっていた。例えば、おやつ時間の前に子供が司会となってミーティングを行っていたり、何かを頼まれたり、聞かれたりしてもまずは自分で考えさせたりするようにしていた。そうすることで、自立にもつながるし、積極的に物事に取り組む力を養うことも出来ると感じた。

③子供たちとのコミュニケーションの重要性

学童ボランティアを通して、子供たちと積極的にコミュニケーションをとることで信頼関係を築いていくことが、一番大事だと感じた。私自身、ただ宿題を教えたり一緒に遊んだりするだけでなく、自分から話しかけて子供たちと同じ目線で会話をするように意識していたことで、どんどん子供たちとの仲を深めることにつながったと思う。

KYさん

こうした活動を通して様々なことを感じたり、学んだりしました。大学やバイトでは同世代や大人たちに囲まれて過ごしていたので、好奇心旺盛で自由な子どもたちと接することは新鮮で楽しくもあり、時には難しいこともありました。子供たちとのコミュニケーションの中では、子供らしい純粹さや無邪気さに癒されたり、育てていく立場としての接し方を考えたりする機会もあります。例えば危険なことや、やってはいけないことをどう伝えれば理解してもらえるのかを考えたり、子どもたちが苦戦しているのを見ると手助けしたくなるけれど、遠回りをするのも成長するために大事なことだと思うようになってきました。私はこれまで「教育」という視点を意識することがほとんどなかったのですが、学童ボランティアの活動を通して子供と関わることの楽しさ、やりがいを実感し、自分自身の考え方にも変化を感じているため挑戦してみてもよかったなと思っています。

ボランティア学生へのメッセージ

KM さん

今回の学童ボランティアでは、低学年の子供たちと関わる機会が多く、大変なことや接し方が難しい部分もあったけど、とても楽しく良い経験が出来ました。また、ボランティア活動も自分のスケジュールに合わせて始められると思うので、学童ボランティアはおすすめです！

また、どんなボランティアをするか迷っていたら、私のように自分の好きなことや興味のあることと繋がっているボランティアに取り組むと、継続することが出来ていいと思います。

KY さん

私がそうであったように、活動を始めてみることで何かしらの気付きや学び、楽しさを感じることがあると思います。将来を考えるきっかけになったり、興味が広がったりといろいろな可能性があると思っていますので、子供と関わるのが好きな方やボランティアに興味があるという方は挑戦してみてください。